

F01K 蒸気機関設備；蒸気アキュムレータ；
他に分類されない機関設備；特殊な作
動流体またはサイクルを用いた機関
（ガスタービンあるいはジェット推進設備 F
0 2 ；蒸気発生 F 2 2 ；原子力動力設備，その
機関の配設 G 2 1 D ）

注

クラス F 0 1 の前の注，特に“蒸気”および“特殊蒸気”に注
意すること。

サブクラス内の索引

蒸気機関設備

次のものを使用する事の特徴とするもの

アキュムレータあるいは加熱器；アルカリ中に貯蔵する装置；
特殊機関..... 3/00;5/00;7/00

特殊な蒸気系，サイクルまたはプロセスをもつもの 7/00

次のものの構成を特徴とするもの

復水器；機関とボイラまたは復水器の構造的結合 9/00;11/00

他に分類されないもの 21/00

一般的配置または運転法；特殊な用途への応用 . 13/00;15/00

蒸気への利用

給水加熱のためのもの；再生またはその他の処理におけるも
の；他の目的のためのもの 7/34;19/00;17/00

蒸気の利用に制限されない機関設備

異なった流体によって駆動される数個の機関をもったもの
..... 23/00

他に分類されないもの，特殊な動作流体をもったもの，または
閉鎖サイクルで動作するもの 25/00;27/00

蒸気アキュムレータ 1/00

特殊な形の機関

蒸気機関..... 7/00

蒸気以外のもの 25/00

1/00 蒸気アキュムレータ（蒸気機関設備におけ
るアキュムレータの使用 F 0 1 K 3 / 0
0 ）

1/02 ・液体中以外に蒸気を蓄えるもの

1/04 ・液体中に蒸気を蓄えるもの，例．ルース
型のもの（アルカリ中で蒸気圧を高める
形態 F 2 2 B 1 / 2 0 ）

1/06 ・・蒸気の分配，蒸気の形成または循環を
促進させる内部構造（充てんまたは放出
する間の過程 F 0 1 K 1 / 0 8 ；複式ア
キュムレータ間の循環を促進させる装置
F 0 1 K 1 / 1 4 ）

1/08 ・アキュムレータの蒸気充てんまたは放
出（複式アキュムレータのための独特な
もの F 0 1 K 1 / 1 2 ）

1/10 ・過熱蒸気に特に適合したもの

1/12 ・複式アキュムレータ；それに特に適合
した充てん，放出または調節

1/14 ・・循環

1/16 ・その他の安全または調節装置

1/18 ・・蒸気圧力に対するもの

1/20 ・他の蒸気アキュムレータ部品，細部また
は付属品

蒸気機関設備

3/00 その内部で蒸気または熱のアキュムレータ
または中間蒸気加熱器を用いることを特徴
とする設備（排気の再生 F 0 1 K 1 9 / 0
0 ）

3/02 ・アキュムレータおよび特殊な機関形式の
使用；その調節

3/04 ・・機関が複式入口圧力形であるもの

3/06 ・・機関が抽出または非凝縮形であるもの

3/08 ・アキュムレータの用途であって，設備が
特定の用途に特に適合したもの

3/10 ・・乗物駆動用のもの，例．アキュムレー
タ機関車用

3/12 ・2 またはそれ以上のアキュムレータをも
つもの

3/14 ・蒸気アキュムレータと加熱器の両方をも
つもの，例．過熱アキュムレータ（蒸気
過熱ヒータそれ自体 F 2 2 G ）

3/16 ・・アキュムレータと加熱器の相互の配置

3/18 ・加熱器をもつもの（蒸気アキュムレータ
および加熱器両方をもつもの F 0 1 K 3
/ 1 4 ；蒸気加熱器自体 F 2 2 ）

3/20 ・・メインボイラの燃焼ガスによって加熱
されるもの

3/22 ・・・制御，例．始動，停止

3/24 ・・別個の燃焼器の加熱器によって加熱さ
れるもの

3/26 ・・蒸気によって加熱されるもの

5/00 蒸気圧力を高めるための蒸気のアルカリ中
への貯蔵に特徴のある設備，例．ホニグマ
ンまたはコエネマン型のもの

5/02 ・再生装置に用いられるもの

7/00 特殊な形式の機関を用いることを特徴とす
る蒸気機関設備（F 0 1 K 3 / 0 2 が優
先）；特殊な蒸気系，サイクルまたはプロセ
スを用いることを特徴とする設備または機
関（ユニフロ方式を用いる往復ピストン機
関 F 0 1 B 1 7 / 0 4 ）；そのような系，サ
イクルまたはプロセスに特に適合した制御
手段；給水加熱のための引き込みまたは排
出蒸気の使用

7/02 ・機関が多段膨張形であるもの（機関がター
ビン形のみであるもの F 0 1 K 7 / 1
6 ；機関が臨界または超臨界圧力の蒸気
を用いるもの F 0 1 K 7 / 3 2 ；機関が
抽気または非復水形であるもの F 0 1 K
7 / 3 4 ）

7/04 ・・前記機関に対する独特な調整装置 [2
0 0 6 . 0 1]

7/06 ・機関が複式入口圧力形であるもの（F 0

	1 K 7 / 0 2 が優先；機関がタービン形のみであるもの F 0 1 K 7 / 1 6 ；機関が臨界または超臨界圧力の蒸気を用いるもの F 0 1 K 7 / 3 2 ；機関が抽気または非復水形であるもの F 0 1 K 7 / 3 4)		
7/08	・ ・ それらに特に適合した調整手段	11/04	・ ボイラまたは復水器が使用時に回転するもの
7/10	・ 機関の排気圧力に特徴があるもの（機関がタービン形のみであるもの F 0 1 K 7 / 1 6 ；機関が臨界または超臨界圧力の蒸気を用いるもの F 0 1 K 7 / 3 2 ；機関が抽気または非復水形であるもの F 0 1 K 7 / 3 4)	13/00	全蒸気機関設備の一般的配置または操縦法
7/12	・ ・ 復水形のもの	13/02	・ 調整，例．停止または始動
7/14	・ ・ ・ それらに特に適合した調整手段	15/00	蒸気機関設備の特殊用途への適用
7/16	・ 機関がタービン形のみであるもの（機関が臨界または超臨界圧力の蒸気を用いるもの F 0 1 K 7 / 3 2 ；機関が抽気または非復水形であるもの F 0 1 K 7 / 3 4)	15/02	・ 乗物駆動用のもの，例．機関車 [2 0 0 6 . 0 1]
7/18	・ ・ タービンが複式入口圧力形であるもの	15/04	・ ・ 乗物が水上航行船舶であるもの
7/20	・ ・ ・ それらに特に適合した調整手段	17/00	蒸気機関設備から抽出または排出された蒸気または復水の利用（給水を加熱するもの F 0 1 K 7 / 3 4 ；復水をボイラへ還流させるもの F 2 2 D)
7/22	・ ・ タービンが中間段での蒸気の加熱をともなうもの	17/02	・ 加熱目的のためのもの，例．工業用，家庭用（ F 0 1 K 1 7 / 0 6 が優先；家庭用または区域暖房システム，例．中央暖房システム， F 2 4 D 1 / 0 0 ， F 2 4 D 3 / 0 0 ， F 2 4 D 9 / 0 0) [3]
7/24	・ ・ ・ それらに特に適合した調整または安全手段	17/04	・ 加熱以外の特殊な目的をもつもの（ F 0 1 K 1 7 / 0 6 が優先）
7/26	・ ・ タービンが中間段での蒸気の蓄積をともなうもの	17/06	・ 蒸気のエネルギーを別の形式で，プロセスに対して還元するもの，例．設備の固体燃料を乾燥するために排気を使用するもの
7/28	・ ・ ・ それらに特に適合した調整手段	19/00	蒸気機関設備から排出された蒸気の再生またはその他の処理（蒸気圧力を高めるために蒸気をアルカリ中に貯蔵する装置を用いることを特徴とする設備 F 0 1 K 5 / 0 0 ；ボイラへの復水の還流 F 2 2 D)
7/30	・ ・ タービンが排気のみを用いるもの	19/02	・ 圧縮による再生
7/32	・ 機関が臨界または超臨界圧力の蒸気を用いるもの	19/04	・ ・ 冷却または加熱との組み合わせ
7/34	・ 機関が抽気または非復水形であるもの；給水加熱のための蒸気使用（給水加熱器一般 F 2 2 D)	19/06	・ ・ 機関シリンダ内におけるもの
7/36	・ ・ 容積形の機関	19/08	・ ・ 噴射装置，噴射送風機またはこれらと類似のものによる圧縮
7/38	・ ・ 機関がタービン形であるもの	19/10	・ 復水器によらない排気の冷却；排気を目に見えないようにするもの
7/40	・ ・ 2 つまたはそれ以上の給水加熱器の直列使用	21/00	他に分類されない蒸気機関設備
7/42	・ ・ 給水加熱のための過熱戻し器の使用	21/02	・ 機関シリンダ内で蒸気発生するもの
7/44	・ ・ 給水加熱およびその他の目的のための蒸気の使用	21/04	・ 蒸気とガスの混合物を用いるもの；水または蒸気を熱ガスと直接接触させて蒸気を発生または加熱する設備（直接接触蒸気発生一般 F 2 2 B)
9/00	機関と共動するように配置または変形された復水器によって特徴づけられた蒸気機関設備（復水器を構造的に機関と結合するもの F 0 1 K 1 1 / 0 0 ；蒸気復水器自体 F 2 8 B)	21/06	・ 熱力学的でない，生蒸気の取り扱い，例．機関内での付着物発生防止のためのもの
9/02	・ 復水または空気ポンプの配置または変形	23/00	2 以上の機関が設備の外部へ出力を供給し，それらの機関が異なった流体で駆動されることを特徴とする設備
9/04	・ 段落をバイパスさせるためのダンプ弁をもつもの	23/02	・ 機関サイクルが熱的に結合されているもの
11/00	機関がボイラまたは復水器と構造的に結合していることを特徴とする蒸気機関設備	23/04	・ ・ 一方のサイクルからの凝縮熱が他方のサイクルの流体を加熱するもの
11/02	・ 機関がタービンであるもの	23/06	・ ・ 一方のサイクルからの燃焼熱が他方の

- サイクルの流体を加熱するもの
- 23/08 ・ ・ ・ 一方のサイクルの作動流体が他方の
サイクルの流体を加熱するもの
- 23/10 ・ ・ ・ 一方のサイクルの排出流体が他方の
サイクルの流体を加熱するもの
- 23/12 ・ 複数の機関が機械的に結合されているもの
(F 0 1 K 2 3 / 0 2 が優先)
- 23/14 ・ ・ 少なくとも 1 つの燃焼機関を含むもの
- 23/16 ・ ・ 全部の機関がタービンであるもの (F
0 1 K 2 3 / 1 4 が優先)
- 23/18 ・ 特殊用途に適用することを特徴とするもの
- 25/00 特殊な作動流体を使用するものであって、
他に分類されない設備または機関；密閉サイ
クルで動作する設備で、他に分類されないもの
- 25/02 ・ 流体が液相のままであるもの
- 25/04 ・ 流体が異なった相であるもの、例．泡
- 25/06 ・ 異なった流体の混合物を用いるもの (蒸
気とガスの混合物を用いる設備 F 0 1 K
2 1 / 0 4)
- 25/08 ・ 特殊な蒸気を用いるもの
- 25/10 ・ ・ 蒸気が低温のもの、例．アンモニア、
二酸化炭素、エーテル
- 25/12 ・ ・ 蒸気が金属であるもの、例．水銀
- 25/14 ・ ・ 工業用廃ガスまたは他の廃ガスを用い
るもの
- 27/00 熱または流体エネルギーを機械的エネルギーに
変換する設備で他に分類されないもの
- 27/02 ・ 排気熱以外の廃熱、例．機関の摩擦熱、
を用いるよう変更された設備